

1. 評価結果概要表

作成日 平成 20 年 2 月 29 日

【評価実施概要】

事業所番号	1471001626
法人名	シニアウイル株式会社
事業所名	シニアウイルおどりば戸塚
所在地	横浜市戸塚区汲沢8丁目31番18-19号 (電話) 045-869-0203

評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部		
所在地	横浜市港北区新吉田東5-76-35		
訪問調査日	平成20年2月22日	評価確定日	平成20年3月20日

【情報提供票より】(20年 1月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 18年 3月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	10 人	常勤	8 人, 非常勤 2 人, 常勤換算 4.9

(2) 建物概要

建物構造	軽量鉄骨造り 2階建ての1階~2階部分
------	------------------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	65,000 円	その他の経費(月額)	38,000 円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(500,000 円) 無	有りの場合 償却の有無	○有/無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,300 円	

(4) 利用者の概要(1月 1日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護1	3 名	要介護2	3 名		
要介護3	5 名	要介護4	5 名		
要介護5	2 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 85.6 歳	最低	56 歳	最高	94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	若杉診療所・西横浜国際総合病院・湘南記念病院 他に4機関
---------	------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

◇(立地条件) 事業所は、市営地下鉄の駅から徒歩8分と交通至便の地にある。近くには公園や商店街、郵便局などがあり、生活に便利で閑静な住宅地である。
 ◇(医療との連携と健康管理) 医療連携加算の指定を受けており、提携医療機関は歯科を含めて7機関ある。隔週の往診(緊急時には24時間対応)と、看護師が定期的に健康チェックをしており、利用者・家族が安心できる体制となっている。
 ◇(職員の育成) 外部研修に計画的に参加している。昨年後半から毎月、介護技術と医療知識習得の社内研修でサービスの向上を目指し、また、日頃の支援の中で“良いところを共有し伸ばしていく取組みをスタートさせた。何れも、職員で考え管理者が個別にコメントし、事業所をあげて展開している。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>・前回の外部評価では要改善事項はなかったが、今回の内部・外部評価を活かして課題を見出し、サービスの向上を図っていく意向である。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>・自己評価の意義を全職員に周知するため、評価票を全職員に配布して職員が判断できる項目を記入したのち、会議で検討して管理者が取りまとめた。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>・1月に3回目の会議を開催し、事業所の現状と活動状況を報告した。出席者からの質問や要望・助言・提案に対し、事業所の考え方を説明し、今後の検討課題を討議した。 ・主な討議内容として、①地域防災訓練への参加、②ボランティアの受入れ、③地域の行事への参加などが挙げられている。一部は既に実施に移しているものもある。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>・入所時に管理者は、家族に苦情相談窓口を説明し、意見や苦情を出し易いようにしている。 ・玄関に、ご意見箱を設置している。毎月の報告書に意見欄を設け、家族の来訪時に話し合っている。現在のところ苦情は寄せられていない。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>・自治会主催のお祭りや餅つき・運動会など地域の行事に積極的に参加している。 ・近隣の方とは、散歩や買い物のときお互いに気軽に挨拶している。事業所の行事に民生委員を招待し、ボランティアが習字の指導に訪れている。 ・事業所は、地域に知られるようになったが、管理者は更に交流を深めていきたいと意欲的である。</p>

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	・職員の参加により、地域に密着したサービスを目指す理念を作りあげた(利用者の尊厳、笑顔と和みの提供、地域環境に触れながら持てる能力を活かす、近隣の医療機関との連携による安心・安全な生活の提供)を理念として掲げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	・理念が日々のサービスに反映されるように管理者は、申し送りや、スタッフ会議の場で職員に説明している。 ・理念を、リビングと玄関、事務室に掲示して、利用者や職員に周知している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	・自治会に加入し、地域の夏祭りや運動会・敬老会・餅つきなどの行事や、地区センターの催しにも参加している。 ・散歩や買い物時に、気軽に声をかけ合うなど近隣の人と親しくしている。 ・ボランティアが習字の指導や大正琴の演奏に来ている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	・自己評価票を全職員に配布し、会議を開催して自己評価の意義を周知した。職員は、判断できる項目を記入して管理者がとりまとめた。 ・管理者は、職員とともに今回の評価結果をサービスの向上に活かすよう意欲的に取り組んでいる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・1月に第3回の会議を開催した。会議では、事業所の現状と活動状況を報告をし、出席者からは質問のほか要望・助言・提案があった。 ・会議には、町内会長・民生委員・地域包括センター職員・利用者家族・法人の代表、管理者が出席した。		

シニアウイールおどりば戸塚

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	・区主催のグループホーム連絡会に出席して、情報を交換している。また、市主催の研修会にも積極的に参加している。 ・地域ケアプラザとの連携を密にし、プラザ主催のお祭りなどの行事に参加している。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	・個別の「生活状況表」を月1回郵送している。状況票には①身体精神面、②生活面、③お知らせ、④預かり金残高と意見・要望欄を設けて、確認サインをして返送してもらっている。 ・家族の来訪時には、利用者の状況をケース記録を用いて詳しく伝えている。体調不良の際はその都度電話にて連絡している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・入所時に、管理者が家族に苦情相談窓口を説明して、意見や苦情を出し易いように配慮している。 ・玄関に「ご意見箱」を設置し、毎月の報告書に意見・要望欄を設け、来訪時に話し合い、家族の意見を聞いている。現在のところ苦情は寄せられていない。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	・居室担当制をにより、馴染みの職員が継続して支援している。 ・法人内の異動は原則としてないが、異動の際は利用者によく説明するとともに、1か月程の引継ぎ期間を設け不安を与えないように配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・新入職員には、管理者が個別に指導している。日常のサービスでは、介護の場面に応じて職員間で指導し合っている。 ・職員は、経験と知識に応じ外部研修に積極的に参加している。受講後は報告書を作成し職員間に回覧している。 ・管理者は、①介護技術と医療知識の習得、②チームワークの向上を目指し職員とともに取り組んでいる。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・市や区のグループホーム連絡会主催の会合や、研修会に参加して意見交換している。 ・グループホーム相互の交換研修に参加している。平成19年度は6人が参加した。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	・面接時に、事業所のサービス内容を説明し、本人の不安や要望を傾聴したのち見学してもらっている。また、要望があった場合は体験入居してもらっている。 ・入居後は、慣れるまでの間、家族に面会の機会を多くしてもらったり、電話連絡が取れるよう配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	・アセスメントで本人に何ができるかを把握し、できることは自分でしてもらおう場づくりをしている。 ・調理、掃除、洗濯などは、日常の暮らしのなかで職員と一緒にいき感謝の言葉をかけている。利用者からも「ありがとう」の言葉を貰い支えあう関係を築いている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・入所時のアセスメントで利用者の生活歴や身体状況を把握し、入所後は、日常の生活の中で傾聴に努め、本人の希望や意向を把握している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	・アセスメントの結果を基に本人・家族と話し合い、それぞれの意向や希望を把握して介護計画を作成している。 ・入所1か月後に改めてアセスメントを行い、利用者の日常生活面での課題について話し合っている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	・計画書は、3か月ごとに見直し、状況の変化に応じてケアカンファレンスを行い随時見直している。 ・介護計画とケア記録をセットで扱い、職員がいつでも確認し、変化を把握して迅速に適切な対応ができる仕組みをとっている。		

シニアウイールおどりば戸塚

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	・医療連携体制加算の指定を受けており、週3回看護職員が健康状態をチェックしている。 ・敷地内にある小規模多機能居宅介護施設でのゲームや行事にも参加している。家族の付き添いが難しい利用者の通院介助には柔軟に対応している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・掛かりつけ医は本人の希望を尊重している。 ・隔週に近隣の医師による往診(緊急時は24時間対応)がある。歯科医を含め7つの協力医療機関あり、また、看護師による定期的な健康チェックがあるなど、医療と健康管理面で安心できる体制となっている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	・開所早々にターミナルケアを実施している。 ・入所時、家族に医師による今後の医療方針、重度化した場合について説明をしている。 ・重度化した場合の指針を定めており、家族の要望・医師の判断のもとに支援している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	・個人情報保護法の目的・方針を事務室に掲示している。利用者・家族は入所時に管理者から説明を受け同意している。 ・職員は、利用者の尊厳を損なわないように配慮している。さりげないトイレ誘導など接し方、言葉かけは丁寧で穏やかである。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・日々利用者の希望にそった支援をしている。利用者は思い思いに過ごしている。食後の片付けの後、居室で過ごす人、気の合う人との会話やテレビを見たり、新聞を読む人など、一人ひとりのペースで過ごしている様子がうかがえる。 ・職員は、利用者の自立に向けた支援をしている。		

シニアウイールおどりば戸塚

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・献立は業者に依頼し、食材も業者より取寄せている。月に2～3回、献立の希望をとり出前などの好みに応じている。 ・食事はBGMがかかる中で、職員と一緒に楽しみながら摂っている。利用者は調理の準備から片付けまで自発的に参加している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	・一人ひとりの希望に沿って入浴を支援している。 ・柚子湯や入浴剤で入浴を楽しくする工夫をしたり、バイタルチェックや水分補給にも注意している。希望する利用者には同性介助をしている。		
siennsiteiru					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	・利用者の生活歴や意向に配慮し、調理・配膳・掃除・洗濯物たたみ・片付けや花壇の手入れ・野菜作りなど、得意分野で力を発揮してもらっている。 ・年間の行事(餅つき・観梅・ひな祭り・花見・クリスマス会他多数)や、習字・塗り絵・大正琴鑑賞・音楽療法・お菓子づくりなど毎日を楽しく過せるように工夫している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	・天気の良い日は、散歩やスーパーへの買い物など希望に応じて出かけている。 ・歩行が困難な方には、車で買い物するなど、なるべく皆が外出できるように支援している。玄関の鍵をかけていないので、庭には車椅子の利用者もいつでも出られる。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	・事業所の周囲は、閑静な戸建ての住宅地であり、玄関の鍵は夜のみかけている。1階・2階の出入り口には大きな鈴を付け、戸が開くと、職員がすぐ分かるようになっていて、鍵をかけない介助を実施している。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	・火災や地震を想定して、消防署の指導の下で年2回利用者の避難誘導・消火の防災訓練を実施している。 ・町内会・民生委員・近隣の住民とも連絡を取り合っている。 ・非常食・飲料水の備蓄は今後の課題である。	○	・災害時を想定し、非常用の食糧と飲料水を2～3日分備蓄することが望まれます。

シニアウイールおどりは戸塚

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・管理栄養士が作成した献立により調理している。 ・栄養バランスの取れたメニューで、利用者の状態に応じた刻み食なども提供している。 ・食事量・水分量も毎日3食ごとに記録し把握している。		
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・リビングは、明るく広く清潔である。採光や音にはとりわけ注意を払い、夏場は暑さ対策として蔦類の植物で直射日光を和らげている。 ・壁面には利用者の習字、絵などの作品や催し物の写真が展示されている。1、2階の玄関には雛人形が飾られ季節感があり、気持ちが和む雰囲気がある。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・ベッド、カーテン、ソファ、テレビ、仏壇など馴染みの家具が持ち込まれている。また、家族の写真や海外で買った人形などが大切に飾られている。馴染みの机で読書・書道・絵などを楽しむことができる。、利用者が心地よく過ごせる居室となっている。		

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	職員も参加して、利用者の笑顔と尊厳を大切に、馴染みの職員と和やかに暮らせる理念をつくりあげた	
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念に基づいた介護を心がけるよう、毎日の申し送り時やスタッフ会議を利用して職員に伝えている。理念はホームの見やすい場所に掲示し、確認できるようにしている	
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	ホームの行事には、ご家族や地域の方や民生委員の方々に参加していただき、日常生活の様子と共に事業所の理念を説明して、理解していただく機会を作っている	
2. 地域との支えあい			
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近所の方々と顔なじみであり、買い物や散歩の時でも気軽に声をかけ合い、利用者がお子さんや近隣の方々と交流するように努めている	
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入しており、地域行事には積極的に参加している(夏祭り・運動会・敬老会・餅つきなど)	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	訪問歯科医による口腔ケア講座を開催したり、他の介護施設の家族会の見学者を受入れ、地域でのネットワーク作りをしている		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価シートを、全職員に配布して記載することにより、職員一人ひとりに、外部評価を実施する意義を理解してもらった	○	課題や改善点については前向きに取り組んでいきたい
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	1月度に、3回目の運営推進会議を開催した 会議の報告書を基に、提出された課題の対策を検討し、ケアサービスの向上に活かしている		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の研修会に参加したり、戸塚区主催のグループホーム連絡会に出席して情報を共有している。 生活保護者を受入れており、福祉事務所との連絡も密に取っている。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	管理者が研修会に参加して、制度について学ぶ機会を持っている。問い合わせがあったときは情報を提供している		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	スタッフ会議を利用して資料を配布し、虐待について勉強をしている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>		
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>		
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>		
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	入社間もない職員には管理者が個別に指導したり、職員のレベルに合った社外研修を受けられるよう、積極的に支援している。研修後は報告書を提出し、スタッフ会議で発表してもらっている	○ 研修プログラムを作り入社時から研修を行っていきたい
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	市や区のグループホーム連絡会主催の会合や研修会に参加して情報交換をしている 職員の交換研修などにも積極的に参加しネットワークを構築している	
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	決められた休憩時間が守られるよう環境作りをしている 職員の親睦会を定期的の実施している	
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	職員の希望や実績によりパートから正社員へステップアップできる 職場内のチームワーク向上のため「いい事」を職員全員で共有している	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	面接時にご本人からの訴えに傾聴し、不安や求めているものを受け止めるよう努力している	
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	相談時、ご家族の悩みや要望を良く聞き、早めに信頼関係が築けるよう努めている	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	見学時や面談時、お話を伺いながら、必要とされている支援を見極め対応している		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご本人やご家族が納得した上で入居いただけるよう、本入居前の体験入居も行っている 慣れるまではご家族から面会の機会を多くしていただいたり、電話連絡が取るなどの配慮をしている		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	ご本人の出来ることを把握し、ケアプランを作成して、活躍できる場面を作り出し、職員と支えあう関係を築いている		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の面会時に利用者の日頃の様子をお伝えし、グループホームの対応では困難ケースがある場合は、ご家族の協力をお願いしている		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご家族とコミュニケーションを図り、入居後もご本人と家族が良好な関係を継続出来るように支援している		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居時のセンター方式のアセスメントを活用し、ご家族の協力を得ながら馴染みの場所に訪問する機会を作っている 面会はいつでも受け入れている		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士の相性を見極め、孤立したりトラブルにならないよう支援している		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退去されたご家族から連絡があり、相談を受けたり、ボランティアに来ていただいたりしている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式のアセスメント表を活用したり、日頃の会話の中で本人の意向の把握に努めている		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族の協力を得てセンター方式のアセスメント表を記載し、入居以前の生活習慣等の把握に努めている		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	職員にセンター方式アセスメント表の「できること・できないこと」シートを記入してもらい、一人ひとりを把握するように努めている		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居1ヵ月後にセンター方式アセスメントシートを提出してもらい、課題を話し合い介護計画を作成している		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画作成後は3ヶ月ごとに見直し、見直し以前に著しい変化が生じた場合は、ケアカンファレンスを実施し計画の見直しを行っている		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日、個別記録に記入し情報を共有しながら介護計画の見直しを行っている		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	看護職員が日常の健康状態をチェックしている他、定期的に内科医師の往診を受け健康管理をしている。心身の変化があれば相談し指示を仰ぐことができる。歯科医については訪問医無料検診を行い、希望者は治療を行っている。定期的に訪問美容を受けている		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地区センターの行事や催しに参加し地域資源を活用している 定期的にボランティアが来所している		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人の希望に応じ同一敷地内にある小規模多機能施設の行事やレクに参加している		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	必要時には、地域包括支援センターと連絡を取り合い相談・援助をいただいている		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	契約時に協力医療機関の説明を行い、納得した上で主治医を決めていただき、入居後は定期的に適切な医療を受けられるよう支援している。以前からのかかりつけ医を希望される方は、家族による通院をいただいている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症の専門医の受診体制ができており利用者が認知症の症状が進行した状態になっても安心して治療が受けられるよう支援している		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	週3回、看護職員が勤務し利用者の健康管理の支援をしている		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	協力医療機関の介護ネットワークに加入し、入院時の情報交換もできるよう支援している。他の医療機関の入院でもケースワーカーなどと情報交換をし早期退院に向け支援している		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時協力医療機関の主治医が、ご家族と今後の医療方針を話し合い重度化した場合は、ご家族・主治医・ホームの3者で話し合い、方針を共有することを確認している		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	開所早々にターミナルを実施した経験がある。今後も家族の要望があり主治医の許可や指導が受けられれば、家族・主治医・職員のチームとして支援していきたい。	○	終末期の対応に向けて勉強会を行い、チーム力を高めていきたい
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	個人情報に配慮しながら本人・家族の了承を得て情報を交換し、充実したケアの実践に役立てている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	ケース記録・業務日誌などの個人情報を利用者の目の届かない場所に保管している。排泄介助のときなどプライバシーの保護に気をつけている	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	日々の生活の中で自己決定できるよう介護計画に取り入れ支援している	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日のスケジュールにとらわれず、一人ひとりのペースや希望に沿って見守りながら支援している	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	衣服については、朝の着替えのときや入浴時に本人と相談しながら整えている。本人が行きたい美容室などがあるときは、ご家族の支援を受けている	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	調理の手伝いや食後の食器拭きなど利用者のできることは、分担して行っていただいている。食事はテレビを消し音楽を流しゆったりとした雰囲気の中で楽しく摂っていただいている	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのお酒、飲み物、おやつ、たばこ等を一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	医師からの指示(制限)がなければ、本人の希望に添えるよう、ご家族と相談しながら支援している	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	個別のケース記録により排泄パターンを把握し、自立度に応じて失敗しないよう支援している		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	なるべく順番に入浴していただいているが、希望があれば本人の意向により入浴していただいている		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	各利用者の生活習慣を大切に、安心して休んでいただけるよう支援している		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	その方らしい介護計画を作成し、役割や楽しみごとが実現できるよう支援している		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買物時、本人が代金を支払いつり銭を職員と一緒に確認している		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	晴れた日は散歩や日光浴にでかけたり、その他希望に応じて戸外と一緒に出かけている		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	センター方式のアセスメント表で、馴染みの場所を把握し、ご家族の協力を得て外出できるよう支援している		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族からの電話や手紙はすべて本人に渡し、本人からの電話の依頼があったときには自立度に応じて職員が支援している。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時間の設定がなく自宅と同様、馴染みの方がいつでも自由に訪問してもらえるように、家庭的な雰囲気作りを心がけている		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	スタッフ会議時や申し送りのとき、身体拘束について報告確認し合いながら、身体拘束をしない支援を行っている 退院直後の混乱時など安全を確保するため家族の了承のもと、ベッドに柵を使用することがある		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日常的に鍵をかけない支援を継続できるよう全員で取り組んでいる		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員は常に利用者の所在を確認しながら、一人での外出が無いように安全に配慮している		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	刃物や洗剤などは施錠できる場所に保管しているが、自立度に応じて見守りながら使用できるものは身近な場所に置いている		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ヒヤリハット報告書を作成し対応策を話し合い、再度の事故を防止するように情報を共有している ヒヤリハットを隠さず報告しやすい職場作りを目指している		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	看護職員の出勤日に緊急時の初期対応について勉強する機会を持っている。緊急対応マニュアルを作成しいつでもみられる場所に置いている		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防訓練を定期的に行い災害時に職員が利用者を安全に誘導できるよう訓練している		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	管理者が家族の面会時に、身体状況の変化等に伴うリスクを説明し情報の共有を図っている		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝食後・入浴前に血圧・体温を計測し体調の変化に注意している 異変時には状態に応じて看護職員や主治医と相談したり、医療機関に通院したりしている。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個別介護ケース記録に処方薬情報がファイルしており、職員全員が薬について理解できるようにしている 薬が巧く飲めないようなときは、その旨申し送りしている。	○	全員が薬についての知識を持ち、安全な服薬支援ができるようにしていきたい
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎朝食事、牛乳やヨーグルトなどの乳製品をお出しし、便通を促す支援をしている 毎日定時に運動を実施している		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、口腔ケアを行い義歯洗浄や舌洗いの支援を行っている		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士が作成した献立表に基づき調理しており、バランスに留意した食事を提供している。摂取した食事量や水分量を記録し把握している	○	好みの献立を取り入れ、料理作りを楽しむ機会を増やしたい
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症予防のマニュアルを作成しており、スタッフ会議などで確認している。感染症発生時の対応のエプロンを用意している		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	チェック表を作成し衛生管理を行っている		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	門扉は開放しており、花壇やガーデンテーブルを設置して、季節ごとの花を気軽に楽しめる様にしている。誰でも気軽に入れるように案内板を置いている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の場所では、職員は声のトーンに注意し、光を調整し利用者が快適に過ごせるように配慮している 季節に合った飾りのものや花を置いて、季節を感じられるような工夫をしている		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間に椅子やソファが置いてあり、仲間で楽しく過ごしたり一人で自由に過ごせるようにしている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	なるべく馴染みの物品を持ち込んでもらい、居心地よく本人らしく過ごせるような居室作りをしている		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	清掃時は窓を開放し、換気している。居室は24時間換気を行っている。室内温度や湿度はこまめに調節している		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下や居間・トイレ・浴室には手すりを設置し、車椅子の方でも通りやすい空間を確保している。テーブルや椅子の配置も動きやすいよう配置している		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	一人ひとりの残存能力を把握し、ケアプランに反映させ、その人らしく暮らせるよう支援している		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	裏庭に畑や柿を作っており、野菜・果実の収穫が楽しめるようになっている		

V. サービスの成果に関する項目	
項目	最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。
88 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者の
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいの
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいの
	<input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない
89 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> ①毎日ある
	<input type="radio"/> ②数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> ③たまにある
	<input type="radio"/> ④ほとんどない
90 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> ④ほとんどいない
91 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> ④ほとんどいない
92 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> ④ほとんどいない
93 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> ④ほとんどいない
94 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> ④ほとんどいない
95 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族と
	<input type="radio"/> ②家族の2/3くらいと
	<input type="radio"/> ③家族の1/3くらいと
	<input type="radio"/> ④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように
		<input type="radio"/>	②数日に1回程度
		<input type="radio"/>	③たまに
		<input type="radio"/>	④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている
		<input type="radio"/>	②少しずつ増えている
		<input type="radio"/>	③あまり増えていない
		<input type="radio"/>	④全くない
98	職員は、生き生きと働いている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が
		<input type="radio"/>	②職員の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③職員の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が
		<input type="radio"/>	②家族等の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③家族等の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

お客さまが、明るく楽しく安心して過ごせるよう支援しています